政策プロジェクト

政策課題研究グループ

政策課題研究グループは、自民党会派として政策立案・調査研究のため、６グループを組織し会派全体としてテーマを掲げ政策提言に向け、先進地視察をはじめ研究するグループです。
【　①地方財政危機管理(政調理事会)　②コミュニティ　③セーフティネットの充実　④特色ある基礎教育
⑤120万都市への飛躍検討　⑥コンパクトデザインシティ建設　の６グループ　】

セーフティネット充実グループ

自治体にとって「安心安全」は重要でありながら、その推進が難しい課題であります。
ケガや事故は決して偶然の結果ではなく、原因を究明することにより予防できるという、セーフコミュニティの活動が全国的に注目されています。
安心・安全なまち「静岡」をアピールするために、WHOの認証制度の取り組みを提案しています。

１２０万都市への飛躍検討グループ

120万都市研究グループは、複数の市町村で一つの目的に向かって協力している事例を視察に、那覇市・糸満市・宜野湾市におじゃましました。
ここでは、観光事業について市域を超えてパンフレットを協同で作るなどして、観光客が点で廻るのでなく、線で廻れるようにして入込客の増をはかっていました。静岡県は、各市でバラバラにパンフレットを作り、我が市だけを宣伝しています。関係市が集まり、ルールをいくつか作った方が良いと考えます。

特別委員会

議会特別委員会は、市議会として本市が抱えている特別な課題を各常任委員会とは別に、集中的に調査し問題解決のために、全会派より委員を選出し取組む特別な委員会です。
【　①総合治水､海岸保全及び防災対策　②中山間地活性化及び有度山整備促進　③新都市拠点整備及び公共交通対策調査　④大規模社会資本利活用調査　⑤議会改革　の５委員会　】

議会改革

市議会の活性化と市民に開かれた解りやすい議会の為に議会改革特別委員会を設置しました。すでに現在までの静岡市の総合計画策定に当たっては議会の関与や、議会に報告の為の条例が９月議会で決定されました。今後は市議会の基本条令制定、議員定数等が話され、議会としての責任をしっかりと果たしていくつもりです。

中山間地活性化及び有度山整備促進

静岡市域の85％を山で占める我が市の中山間地域。これぞ本市の宝であるとの認識のもと、この活性化に取り組んでいこう！また本市の主要な観光資源である有度山を整備し一大観光地として利活用していこう！と特別委員会を設置しました。
中山間地域なるがためのハンディキャップの解消、公共交通機関の対応、鳥獣被害対策、自然保護新税の創設…等、同じような問題を抱える自治体の全国サミットの開催を…等、次回は、これらと今後の具体的な取り組みを協議していく予定です。

お茶の放射性物質にかかわる損害対策要望書

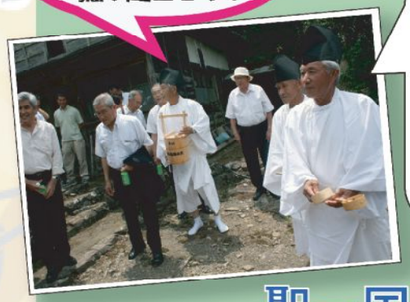
- 早急に対策本部を設置し、対応すること
- 県、農協、茶商等協議の上、損害に対して早急に対応するとともに市としても独自の救済措置を講ずること

東日本大震災による東電の福島第一原子力発電所の事故による放射能の影響により、お茶の生産や消費の現場に多大な損害を与えています。県が実施した放射性物質の検査により、自主回収及び出荷自粛等生産者のみならず茶業界全体に混乱が広がり、関係者の皆様は対応に苦慮されています。
事態の推移によっては、静岡市の茶業基盤そのものが崩壊してしまう恐れもあり、市として対策を早急に講ずるべきと考え、６月に田辺市長に要望書を提出しました。

静岡が生んだ偉人「聖一国師」をたずねて

私たちの郷土“静岡”に生まれ、日本と中国の著名な寺で修行を積み、のちに京都五山の一つ東福寺の開山となった聖一国師は、僧侶として最高の栄誉である「国師」の号を日本で最初に贈られた高僧であり、静岡茶の始祖として知られています。

眠れる資産を掘り起こそう！



平成23年7月4日 栃沢勢水取水

7月4日、博多祇園山笠で勢い水としてまかれている清めの水を、今年も聖一国師の生家、葵区栃沢の米澤家の清流で、取水する水汲みの儀を行いました。

聖一国師を静岡ブランドへ

平成23年7月13日～15日 鹿児島・福岡視察

自民党市議団は、7月14日に聖一国師ゆかりの博多、承天寺に栃沢の清流水を奉納し、翌15日には早朝の山笠祭りの納めに水まきいたしました。

聖一国師ってどんな偉人？

葵区栃沢で生まれた聖一国師は、1235年、宋に渡り、径山（きんざん）万寿禅寺（ばんじゅぜんじ）佛鑑禅師の門下に入り６年間学び、持ち帰ったお茶の種を足久保（静岡市区）に蒔いたと伝えられ、静岡茶の祖とされる。
国師とは国王の師にふさわしい仏徳をもつ高僧に天皇から与えられる称号で、聖一国師は日本で初めて贈られました。中国から帰国した国師は、福岡博多に流行していた疫病をはらう為、水をまき清めたのです。これが博多祇園山笠のお祭りとして現在まで続いています。聖一国師は静岡以上に博多で愛され尊敬されているのです。

平成23年度9月補正予算の概要

	現状の問題点	主な事業と予算	
震災対応	●原発事故による放射性物質の影響でお茶などに被害 ●津波など、東海地震によって生じる被害に不安を感じる	★お茶の放射能物質低減対策・影響調査と、農協が貸し付ける災害対策資金の利子を助成する ★津波避難ビルの小中学校校舎屋上への柵と用宗漁港海岸出入り用の階段を設置する ★児童福祉施設の小型自家発電機購入費を助成する	7500万円 6310万円 125万円
福祉・医療	●認知症や一人暮らしの高齢者が増えている ●医師・看護師が足りない	★援護が必要な高齢者の支援マップを整える ★研修用医療シミュレーション機器等の購入と看護師等の修学資金貸付制度を拡充する	1841万円 1億140万円
災害復旧	●7月の6号台風及び9月の12号･15号台風で被害があった	★道南アルプス公園線他、230路線の路肩･法面崩壊などの復旧 ★有東木沢川他、52河川の護岸損壊･河道閉塞等の復旧 ★その他、農業用施設･林道･治山･漁港等の災害復旧	23億6665万円 3億918万円 10億9230万円
水の安定供給	●水道水の安全安心を求める声 ●水道施設が３か所あり非効率	★水運用センターを備えた上下水道局庁舎建設のための用地を取得する	9億9000万円